

■ 多言語FM放送 ■

【香川の秋祭り】

今回の「香夢音 I-PAL」は、香川の秋祭りについてです。

日本では、9月から11月にかけて、全国の津々浦々で、獅子舞や神輿行列、踊りなど多彩な秋祭りが開かれます。

秋の収穫物を神社などに供えて豊作を感謝する収穫祭を中心とする祭りです。日本は、瑞穂の国と言われることがあります。みずみずしく美しい稲穂が実る国という意味です。また、米だけでなく、五穀豊穰（ごこくほうじょう）といって、穀物が豊かに実ることを祝う文化があります。秋祭りは、そんな日本の文化を現代に伝える祭りと言えます。秋祭りの代表例としては、刈初めの祭りである八朔（はっさく）祭りから、新しい穀物を感謝する新嘗祭（にいなめさい）など、神社などで行われる祭礼行事をまとめて秋祭りと呼んでいます。

香川県内でも、多くの神社で、秋季例大祭と呼ばれる祭りが行われますし、その他、地域の秋祭りが行われます。そのいくつか紹介しましょう。

まず、9月中旬には、三豊市の仁尾町で、八朔人形まつりが開かれます。仁尾町では、ひな祭りの代わりに、八朔人形まつりを祝うという風習があり、町内各地で歴史上の武将やおとぎ話の人形を飾りつけます。9月下旬には、三木町で、獅子たちの里三木活き生きふれあいまつりが行われます。大小約50頭の獅子が勇壮な舞を披露する祭りです。10月に入ると、さぬき市で、野良着姿に奇抜な厚化粧を施した若者たちが、野菜や花を飾り付けたユニークな神輿を担いで参道を往復する、塚原稲荷神社あばれみこしが行われます。そして、10月10日を挟む3日間、琴平町で、金刀比羅宮例大祭が開かれます。神輿を担ぐ神職、巫女の行列が金毘羅本宮から練り歩くお祭りです。10月下旬には、高松市で、仏生山大名行列があります。法然寺を参拝する高松藩の大名行列を再現するもので、時代絵巻を見るようです。

これらは、ほんの一部です。土曜日、日曜日には、県内どこかで、秋祭りが開かれています。皆さんも、さぬきの秋祭りに出かけ、秋の1日、地元の人々との交流を楽しんでみてはどうでしょう。

COME ON! I-PAL

英

来週は中国語放送ですので、次回の英語放送は再来週9月26日日曜日の午後8時55分から。「日本語教室」についてお送りします。

-

中

来週は英語放送ですので、次回の中国語放送は再来週10月3日日曜日の午後8時55分から。「日本語教室」についてお送りします。